

医療最前線

臨床工学技士の業務とさまざまな医療機器①



臨床工学技士 米倉 政雄

はじめに

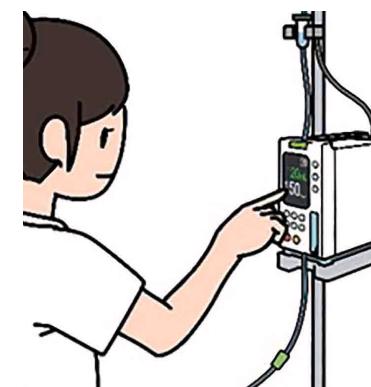
私は臨床工学技士として病院で働いています。病院ではさまざまな医療の専門職が働いていますが、臨床工学技士もその内の一つです。医師や看護師のように誰もが名前を知っているような職種ではありませんが、現在の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストとして病院では多くの医療現場で医療機器の管理、修理、保守、品質管理などの業務を担当しており、今後ますます活躍が期待されています。

今回、この臨床工学技士の業務とさまざまな医療機器との関わりなどについて、これ

二つ目は、メンテナンスと修理です。定期的な点検や保守、メンテナンスや修理が必要です。定期的な検査や保守作業を実施し、故障した場合は、おそらく故障が発生した場

から3回に渡って説明します。三つ目は、品質管理と安全対策です。医療機器が正確に動作しなければ、かえって患者さんに害を及ぼすかもしれません。医療機器を確保するため、品質管理や評価の実施、安全対策の策定などを行います。

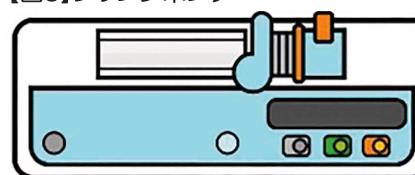
【図2】輸液ポンプの操作



【図2】輸液ポンプの操作

る）、輸液ポンプ【図1】を取り上げたいと思います。まず、医療機器が使用されている選定や導入時の評価ですが、そうした病院に導入される医療機器のトレーニングを行い、医療スタッフに対して、医療機器の正しい使い方やトラブル対処方法などを学びます。また、医療機器に関する問い合わせやトラブルに対してもユーザーサポートを提供します。

【図3】シリンジポンプ



【図3】シリンジポンプ

【図3】シリンジポンプもシリンドリポンプも地味な印象

医療現場では、今回

が発生した場合に警告

音が発する安全機能が備

わっています。例え

ます。それが患者

さんの治療に役立つ

ので、上手に活用

していかなければなり

ません。

しかし、機器も完璧

ではありません。時に

は故障することもあ

りますし、そもそも医

療スタッフが正しい使

い方をしなければ、重

大な医療事故につな

がってしまうかもしれ

ません。

【図2】輸液ポンプの操作

【図3】シリンジポンプ

【図3】シリンジ